

グローバル COE 招聘外国人報告書
(受け入れ教官が記入して提出してください)

拠点リーダー 川合光 殿

(受け入れ教官)

受け入れ教官の 氏 名	一本 潔	職	所属教室 研究室
		教授	理学研究科附属天文台
Tel,Fax,e-mail	Tel: 0578-86-2311 , Fax: **-2118 , ichimoto@kwasan.kyoto-u.ac.jp		

(招聘者)

披招聘者の 氏 名	Jan Olof Stenflo	職	国、所属機関
			スイス、チューリッヒ工科大学
Tel.Fax.e-mail	Tel: +41-44-632-3804, Fax: ** -1205, stenflo@astro.phys.ethz.ch		
滞在期間	自 2011年10月22日 ~ 2011年11月 6日		
談話会	題名 : The Sun as a laboratory for quantum physics		
	日時 : 10月25日 (火) 9:30~11:00		
	聴衆数 : 約 20人		

実際に行った研究活動、成果など簡潔に記述してください。

Jan Stenflo 博士には2週間の京都滞在中に3つのセミナー、

- 1) "Bipolar magnetic regions on the Sun"
- 2) "The Sun as a laboratory for quantum physics;
Enigmatic scattering polarization of NaD1 observed in the Sun"
- 3) "Collapsed, uncollapsed, and hidden magnetic flux on the quiet Sun"

をしていただき、京大の天文学および実験室プラズマ分野の研究者や学生と太陽磁場の基本構造や、未だ量子力学で説明できない太陽スペクトルの散乱偏光に関する議論を行った。また飛騨天文台ではプラズマ偏光分光に関する1日のワークショップを開催し、附属天文台で行っている研究、開発の紹介を行いながら、太陽分光観測に関する多角的な議論を行った。とくに飛騨天文台で開発している汎用偏光観測装置を使った観測手法や太陽スペクトルの偏光に関する研究に関しては様々な有益なアドバイスも得た。今回の Jan Stenflo 博士との交流により、今後の附属天文台との共同研究にむけた第一歩が踏み出せたといえる。